

## 仙台総合ペット専門学校

# 職業関連性を意識したビジネス教育を展開し、 学生時代から将来に生きる社会人基礎力を養う

宮城県仙台市に校舎を構え、東北6県から広く学生が集まる仙台総合ペット専門学校。愛玩動物看護科、トリマー科、ドッグトレーナー科、飼育管理科の4学科6コースを設置し、動物病院からペットショップまで愛玩動物(ペット)業界に有為の人材を多数輩出しています。早くにB検を導入した同校では、その内容も次第に洗練され、「職業にリンクした学び」を展開しています。

### 専門知識だけでは足りない B検を筆頭にビジネス教育を充実

仙台総合ペット専門学校のディプロマ・ポリシー(卒業認定・専門士授与に関する方針)の中には「ビジネス能力検定ジョブパス3級の資格を取得している又は同程度の知識技術を有している」という一文があります。学校全体の指針を表明するディプロマ・ポリシーに具体的な資格名を記す例はあまり見られませんが、教務課長の菅原先生は「敢えて入れる必要があったかと思えます」とその理由を説明します。

「本校に限らず動物関連分野の就職を目指して進学する学生は、動物に関する専門知識や技術を身に付けさえすれば将来活躍できる」と思いがちです。しかし現実はその甘くない、また本校がディプロマ・ポリシーを改定した10年ほど前から、面接やインターンシップなど就職活動の現場においても採用側が新卒者の『社会人基礎力』を非常に重視するようになり、本校は東北で初めて認可を受けた動物系専門学校として、東北地方では中心的な存在です。私たちが社会人基礎力を備えた人材を育成し業界に送り出すことによ



教務課長 菅原先生

り、ひいては動物分野全体の雇用の好循環や地位向上につながる。そのように考え、B検をその一環とするビジネス教育の充実を図る姿勢を明示しました。

### 業界に明るいクラス担任が講師 統計問題や時事問題にも注力

したがって同校では、「職業関連性」を強く意識して取り組んでいます。新入生は入学直後にB検の説明を受けますが、「その際もB検の学びが今の動物業界にいかにも求められているか、また将来どんな風に役立つかを丁寧に伝えていきます」と菅原先生。5月の連休明けにB検3級試験の申し込みを受け付け、前期末の試験日に向けて対策授業が始まります。かつては接遇に明るい外部講師を招いた

こともありますが、現在は全学科クラス担任が授業を受け持っています。

その理由はやはり職業関連性です。「動物業界を知らない」と学生に心配を持たせる授業はできません」と菅原先生。先生自身、同校を卒業後、ペットショップなどで活躍した経験から、担任する飼育管理科の授業では現場の事例をふんだんに取り入れています。

「特に仕事の基本となる8つの意識では、報告を怠った結果こんなミスが起きた、お店にある消耗品を見直したら浮いたコストを他のサービスに回せた、といった例を挙げ、自分が働くイメージを持ちながら理解させるように努めています」。

授業は基本的にテキストに沿いつながりながら事例を紹介する形で進めています。統計問題とビジネス用語の指導時にもなぜ学ぶのか動機づけをしつかり行います。統計問題はグラフや表の問題が出てくるため、計算が苦手な学生には別に課外授業を設けています。が、「重視しているのが数値から何かを読み取る力です」と指摘します。「ペットショップなどで働

くにあたり、売上や経費の分析を通して全体像を把握する力はきわめて重要です。表やグラフが示すものが実際の店舗運営にどう繋がっていくか、事例に則しながら一つひとつ解説しています」。

またビジネス用語では時事問題も多く取り上げています。「就職面接では『最近、気になったニュースは』などと質問されますが、期待されているのは動物の話ばかりではありません。たとえば昨今の物価高が動物業界にどんな影響を及ぼすか。視野の広さや関連付けて考える力などが求められると思います。世界のニュースも生き物と密接に関わることを説明しています」。

講義のほか随時グループワークも行っていますが、得意な学生が教える立場になりがちなので、単元により効果的なタイミングを図って実施しています。協働する力を養うこと、様々な意見を聞くことも目的の一つです。

### 成果は意識の変容 企業からも抜群の評価

菅原先生が飼育管理科でこのような授業を行い、成果が見られたことをきっかけに、他学科も担任主導型に切り替えていきました。学科により関連付ける内容はさまざまですが、たとえば愛玩動物看護科では、動物医療コミュニケーションとつなげた学びを横断的に行うなど、学生の理解を深めるために各科工夫をしています。なお、ビジネスマナーは検定対策としてお辞儀や挨拶などのロープレを授業で行うほか、「ハイオアシス運動(※)」を通して定着させていま

す。

検定合格率は高い水準ですが、「合格した事実より、B検の学びによって学生の意識が変わること」を成果と捉えています」と菅原先生。同校の学生は高校新卒が多いため、入学直後のクラスは割とにぎやかな雰囲気ですが、職業に直結した学びにより相手に配慮した行動を心がけるようになるせいか、半年も経つと落ち着いてくるそうです。菅原先生はそれを「大人の階段を着実に登っている」と表現します。1年後期は身につけたB検の知識を前提に「キャリアデザイン」や「総合的な学びの時間」などの授業でインターンシップの準備を行い、就職活動に臨んでいます。

卒業生を受け入れる企業からは「書類の扱いが丁寧で提出期限も守る」「新人研修でも積極的な姿勢が目立つ」「他校の出身者と比べても明らかにマナーが良い」などと高評価。一方、卒業生からは「動物業界にも経営感覚やビジネスマナーが欠かせないとわかった。学生のうちに身につけておいて本当良かった」という声が寄せられています。今後ますます「職業にリンクする」授業を磨いて、職場で直面する様々な課題を解決できる力を育みたいと構想しています。

※ハイオアシス運動：同校が長年励行するあいさつ運動。「はい」「ありがとうございます」「承知いたしました」など、接客に多用される言葉を授業の冒頭などで唱和している。

公式HPにて、導入事例を多数紹介しています。

## 就職活動の前に！

文部科学省が後援する資格「B 検」を取得！

ビジネス能力検定ジョブパス  
3級公式テキスト

85判、160ページ、価格2,200円(税込)

2級公式テキスト

85判、168ページ、価格2,200円(税込)

3級公式問題集

85判、200ページ(別冊56ページ)、価格1,430円(税込)

2級公式問題集

85判、208ページ(別冊56ページ)、価格1,650円(税込)

留学生向けふりがな付き  
3級公式テキスト

85判、176ページ、価格2,530円(税込)

1級公式問題集

85判、136ページ、価格1,980円(税込)



ビジネス能力検定(B検)ジョブパスは、文部科学省の後援でビジネスマナーやビジネススキルの知識を習得し、社会人の仕事能力を客観的に評価する検定試験です。専門学校生をはじめとして、高校生、短大生、大学生、社会人の幅広い層が受験しています。

監修：一般財団法人職業教育・キャリア教育財団

JMAM 株式会社 日本能率協会マネジメントセンター

●〒103-6009 東京都中央区日本橋2-7-1 東京日本橋タワー TEL 03-6362-4339(代)  
●ホームページで新刊書籍をご案内しております。https://pub.jmam.co.jp/

試験対策の効率化を図り、  
合格率を上げる

## 「試験合格.COM」

【ITパスポート試験】

【情報セキュリティマネジメント試験】

【基本情報技術者試験】

https://shiken-5kaku.com/

ホームページ制作  
システム開発  
広告運用  
コンサルティングなら  
私たちにお任せ下さい！

株式会社リードガイダンス  
www.leadguidance.co.jp

〒170-0013 東京都豊島区東池袋 4-21-1 609  
TEL: 03-5960-7475 FAX: 03-5960-7476

全国の【認可校の専門学校】だけを  
検索できる専門学校の進学情報サイト

## 専門学校ナビ®

きっと見つかるあなたが  
本気になれること

www.senmon-navi.com

教員の負担を減らし、  
学生の日本語のスキルアップを図ります

オンライン日本語教育システム

## Speedy

Speedyとは

日本語を教えている学校・団体のためのオンライン教育支援ツール  
N5、N4レベルのオリジナルの問題・動画を搭載  
オリジナル問題で課題を容易に作成することができ、自動で採点

アーツカレッジヨコハマ 国際情報ビジネス学科

B検をより深く理解し、日本就職につなげるため  
グループワーク中心の授業スタイルを確立

神奈川県横浜市にあるアーツカレッジヨコハマの国際情報ビジネス学科は、日本で就職を目指す外国人留学生が多く学ぶ学科です。東南アジアを中心にさまざまな国の留学生が在籍します。IT・マネジメント・ホテルサービスの専門コースに加え、長期的に安定して日本で働き、生活するための学びが手厚く、その一環としてB検を導入しています。具体的な留学生のB検指導について話を聞きました。

日本人学生と同等の知識を  
日本就職を意識してB検を導入

知識の理解・定着に向け  
グループワークを試行

国際情報ビジネス学科では2014年の開設以来、日本のビジネス社会に必要なスキル(日本語、パソコン、簿記等)を総合的に学びます。その中で、PATF(外国人実務能力検定)等にも挑戦しますが、いずれも外国人を対象とした試験で、「現在は採用選考でも日本人と外国人を分けず、同じ士俵で評価する企業が増えています。B検の定着によりB検を学んだ(日本人の)専門学校卒業生も多くなりましたので、少なくとも彼らと同レベルの知識は身につけておいてほしい。こうした思いと、年々、入学者の日本語力が高まったこともあり、『今なら理解してくれるだろう』と数年前に導入を決めました」と語るのは同学科の主任で、B検の授業を主導する安藤祥子先生です。

入学者の日本語能力が向上したのは、同科が元々日本語能力をしっかりと見て選抜していること、さらに就職実績などの評判が高まるにつれ、応募者が増加したことが背景にあります。近年の志願倍率は3倍ほどで推移し、入学時の日本語レベルは上がっています。しかしそれでも、初期のB検の授業は順調とは言えませんでした。「B検のテキストに沿って、各単元の内容をできるだけ噛み砕いて教えたのですが、覚えるだけで精一杯という状況でした」と安藤先生は振り返ります。より良い方法を探るうちコロナ禍に見舞わ

れ、クラスが少人数になったのを好機に、かねて考えていたグループワークを試してみることに。「これまで留学生は母国が同じ人だけで固まりがちで、また授業が終わるとすぐに帰ってしまうため、他国の学生との交流はあまりありませんでした。授業内でコミュニケーションを取らざるを得ない環境を作れば、母国語同士でしか話さない状況を改善できるとともに、多文化コミュニケーションを促進すると期待しました」というのがその狙いです。

グループワークはまず「多文化理解」の授業からスタートし、ソフトラディングを意識して1年次は担当講師がグループ分けを担当。前期は同国籍の学生でグループを組み、自国の文化を紹介する課題から始め、後期は異国籍ミックスで日本の文化を調べて発表します。特に後期は、国籍や男女比、リーダーシップがあるメンバーを1人ずつ入れる、など配慮した結果、メンバーそれぞれの取り組み方や改善点が明らかになるなど、グループワークの進め方も次第にブラッシュアップされていきました。

先生は「なぜそれが正解か」「他の選択肢はなぜ違うのか」といったことを重視しながら発表に向けて準備を進めるようプッシュ。「たとえば用語問題なら『マーケティング』や『コミュニケーション』などの意味だけではなく、具体例を含めた説明、統計やグラフ問題では、実際の数値や計算式を使った『根拠ある説明』を求めています」と安藤先生。2サイクル以降は前回の反省を踏まえた発表のリハーサルも義務付けるなど、徹底的に発表の質向上に努めているため、「最終サイクルの最後のグループがうまく説明できた時は、クラス全体に大きな達成感が生まれます。意見の対立も含め、自分たちで考えながら総じて楽しく学ぶことにより、身に付き方も格段に向上しました」。

もちろん必要所産ではB検のテキストを用いて理解を強化していきます。特に力を入れているのは、ビジネスで重視される「8つの意識」です。「その際も、たとえば顧客意識に関し、東南アジアでは為売り手の方が偉い」という文化の国もありますが、日本はお客様第一主義です。コンビニなどで丁寧に接客された驚きなど、自分たちに身近な経験をきっかけに興味を持たせ、理解を促しています」と安藤先生。時間を守る、あいさつする、などの意識醸成に関しては、B検の授業はもちろん学校生活を通して身につくよう繰り返し呼びかけています。また学園祭ではマネジメントコースの授業の一環として屋台やゲーム企画を運営。デザートや水餃子など母国の名物を販売する屋台では、原価計算や販売価格の設定、報告書の作成など、B検で教わるビジネスを実体験で学んでいます。

こうした細やかなフォローアップやグループワーク中心の授業スタイルにより、同科卒業生の就職実績はおしなべて好調。「最初の頃の卒業生は就職して4〜5年になりますので、部下を持って活躍する人や、中には永住権の取得や帰化を目指す人も見られます」と安藤先生。母校を懐かしみ、卒業生が母校を訪ねてくることも多く、在学中は問題の多かった学生が、安藤先生のために親元に頼んで母国自慢の紅茶を送ってくれたり、微笑ましいエピソードもたくさん聞きました。「私にとって、長い時間軸で学生の変化を見守ることが大きなやりがいです。日本でいきいきと働き、暮らしていくために、今後もB検を実践的に活用していきます」(安藤先生)



教務部 教務課  
国際情報ビジネス学科 主事  
安藤先生

「全員が理解する」をゴールに過去問を深掘りして優れた発表に

「全員の理解」をゴールに過去問を深掘りして優れた発表に

B検のCBT方式は、  
団体受験のメリット多数

- 1名から団体出願として受付
- 自団体を会場として実施するため、受験者の負担も抑えられます。
- 試験日時を団体で自由に設定でき、授業中にも実施可能(日時変更にも対応可能)
- 団体に費用の還元あり
- 結果は即時判定。申込から結果発表まで最短2週間
- 団体ご担当者様に結果をデータでご提供

指導に、もう1つの視点を。

指導の中で生まれる疑問に寄り添い、役立つ情報を公式HPでお届けしています。(月1回程度)ぜひご利用ください。

Bken News Plus



令和8年度 試験日

◎ペーパー方式 2級、3級(全国一斉)

前期: 令和8年7月5日(日)

後期: 令和8年12月6日(日)

◎CBT方式

2級、3級……通年実施

(団体受験の場合、団体を会場に、試験日時は任意)

1級……前期・後期 指定の各9日間

(詳細を公式HPをご覧ください)

ビジネス能力検定とは

1995年に産学連携で開発され、2025年まで累計130万人が受験。

就職(就活・インターンシップ)前におさえないビジネス知識やマナー、仕事で役立つ基礎知識から問題発見力・提案力・発信力まで網羅し、高校、大学、短大、専門学校、企業と、幅広く活用される試験。